

第10回 六角川水系流域治水協議会 会議資料

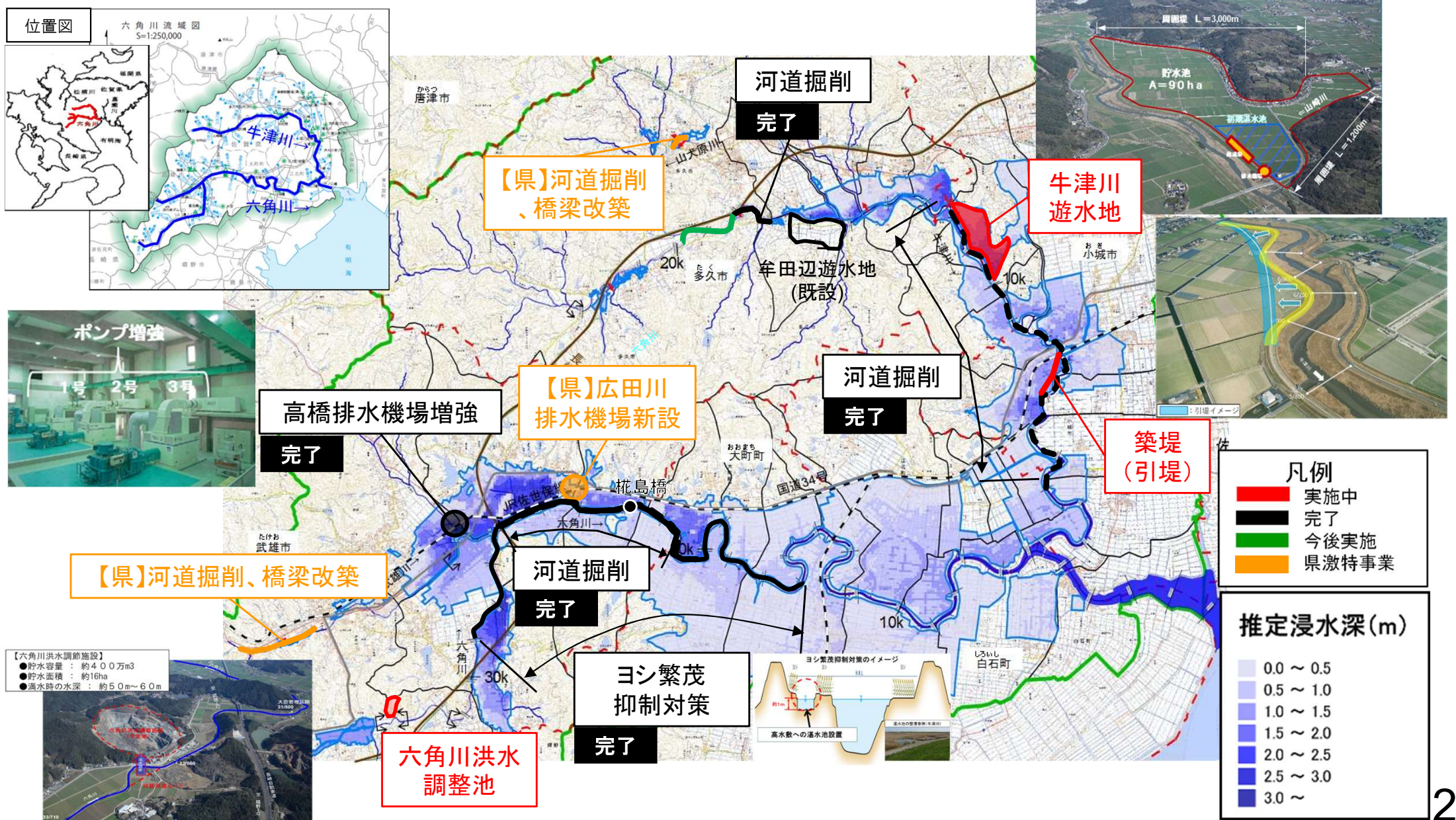
議事2 流域治水対策行動計画の取組状況について

令和8年5月22日

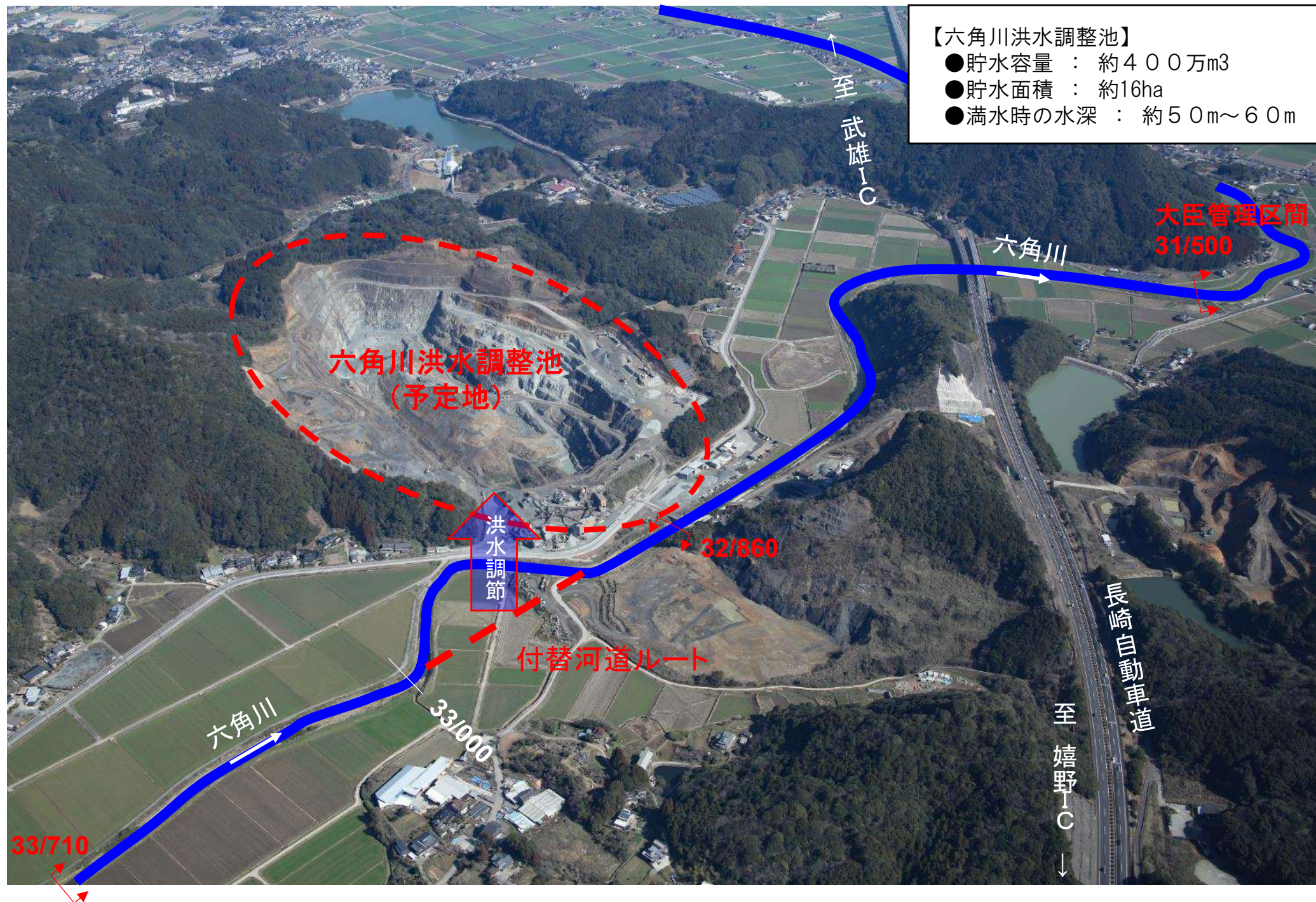
武 雄 河 川 事 務 所

六角川の治水対策の進捗状況

○令和元年8月出水、令和3年8月出水を受け、六角川水系では集中的に治水対策を進めている。
 ○これまでに六角川及び牛津川の河道掘削、ヨシ繁茂抑制対策、高橋排水機場増強が完了。今年度も引き続き、六角川洪水調整池の整備、流域水害対策の推進、牛津川の築堤(引堤)、牛津川遊水地の整備、牛津川中上流部の掘削を実施する。

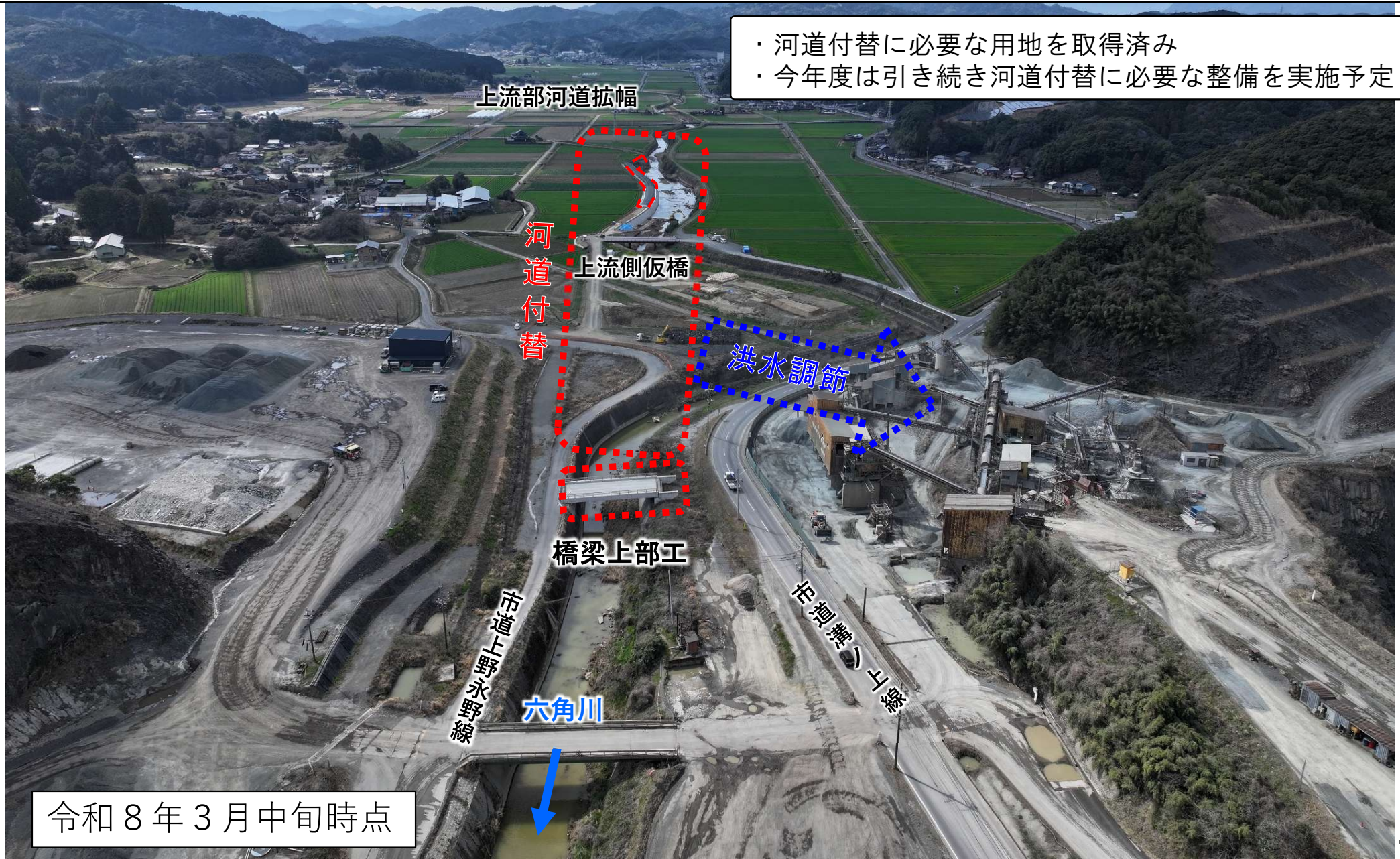


六角川洪水調整池の概要



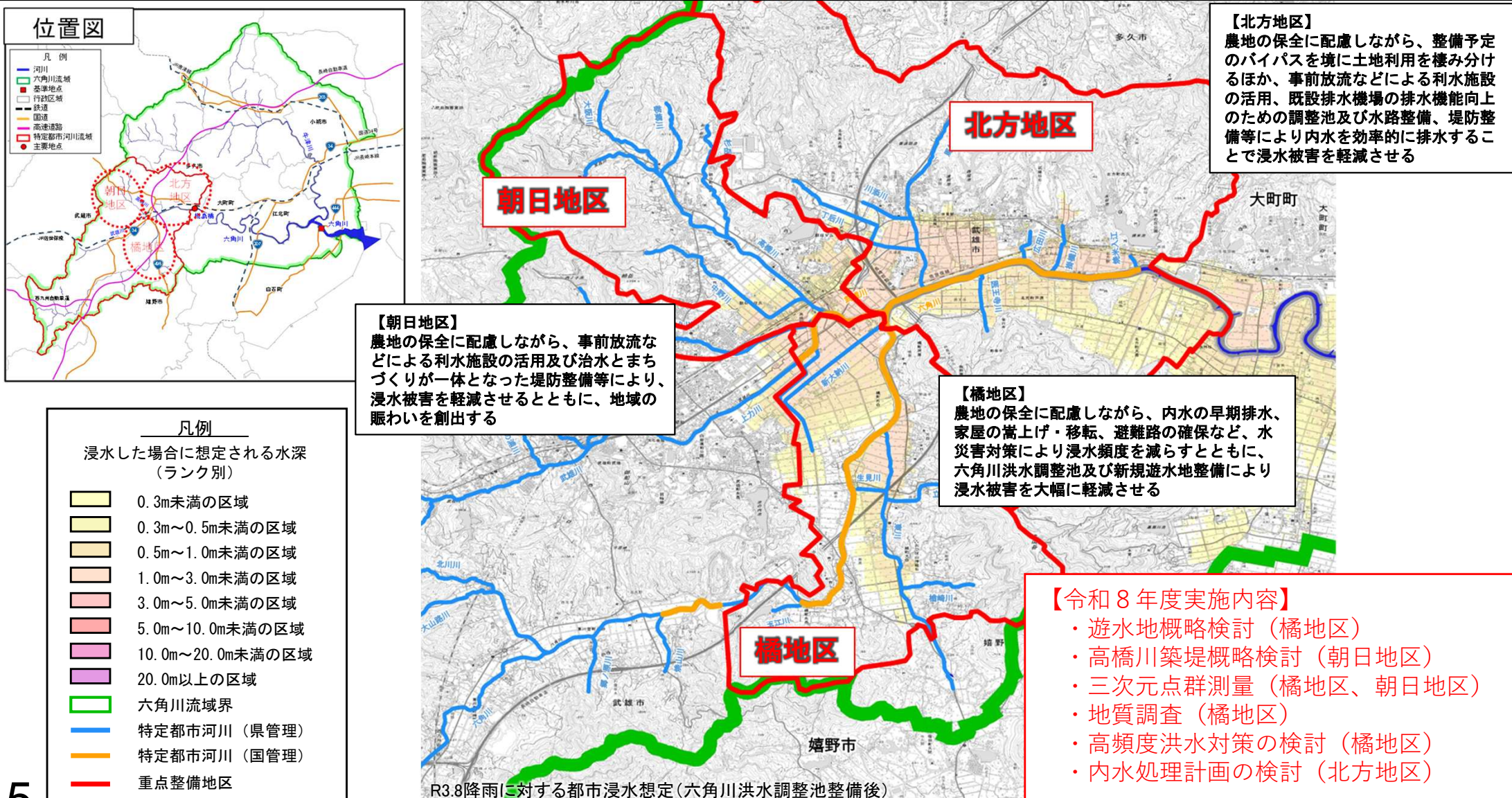
河道の付替えの実施状況(六角川洪水調整池)

○現在、将来の完成河道を見越して、洪水流入部になる区間の河道付替え工事を、六角川の上流端から順次、整備している。



六角川流域水害対策計画について

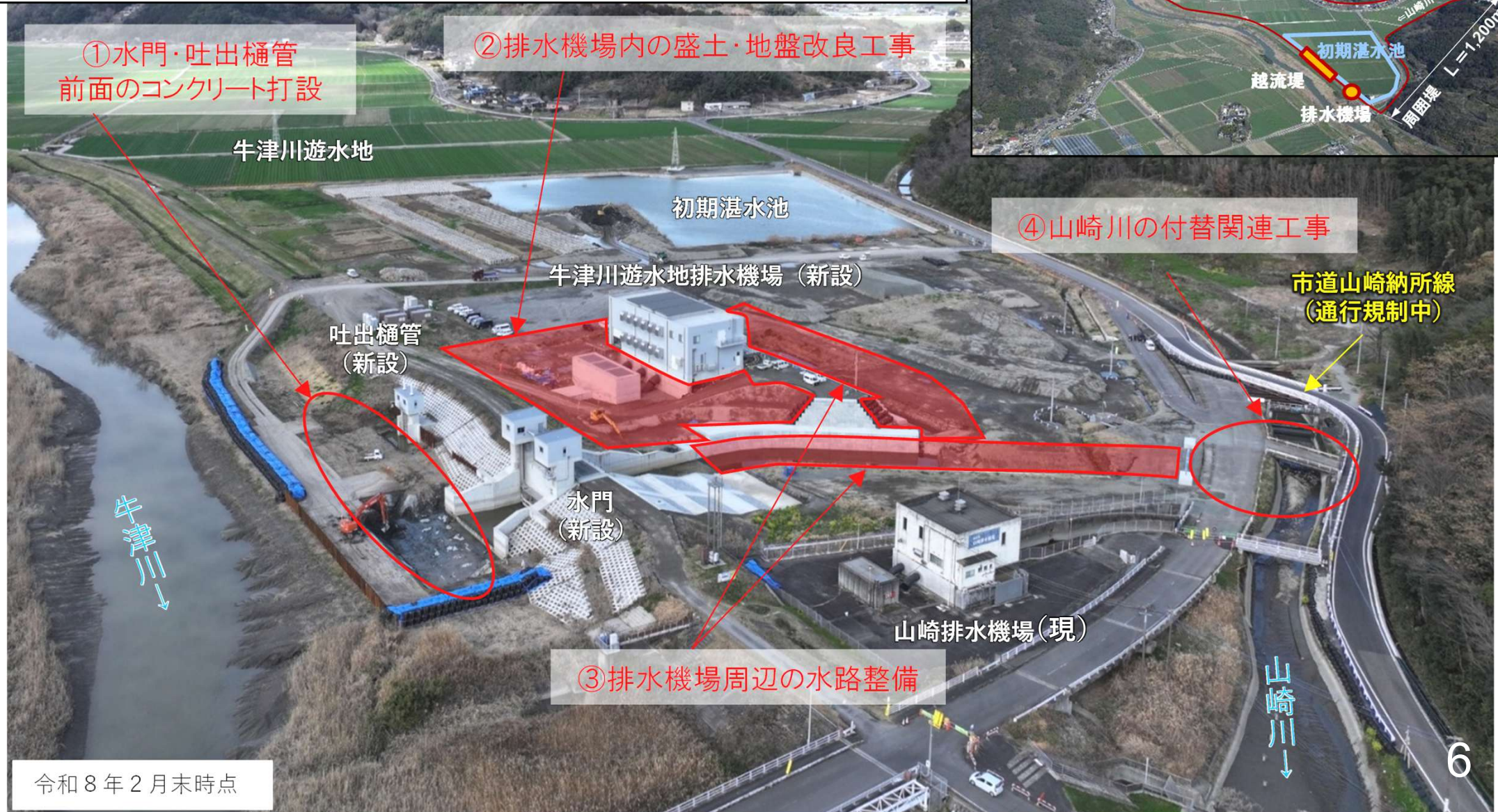
- 本計画は、床上浸水リスクが特に高い武雄市の橘地区・朝日地区・北方地区を重点整備地区とし、生業とコミュニティの維持に配慮しながら、まちづくりと一体となった河川整備、流域対策を記した計画をR7.3.28に策定した。
- 今年度も、引き続き、遊水地・築堤等の概略検討を行うとともに、設計に資する基礎調査（測量、地質調査）を新たに予定している。また、高頻度洪水対策の検討、内水処理計画の検討なども推進する。



重点整備地区の設定と各地区の対策方針

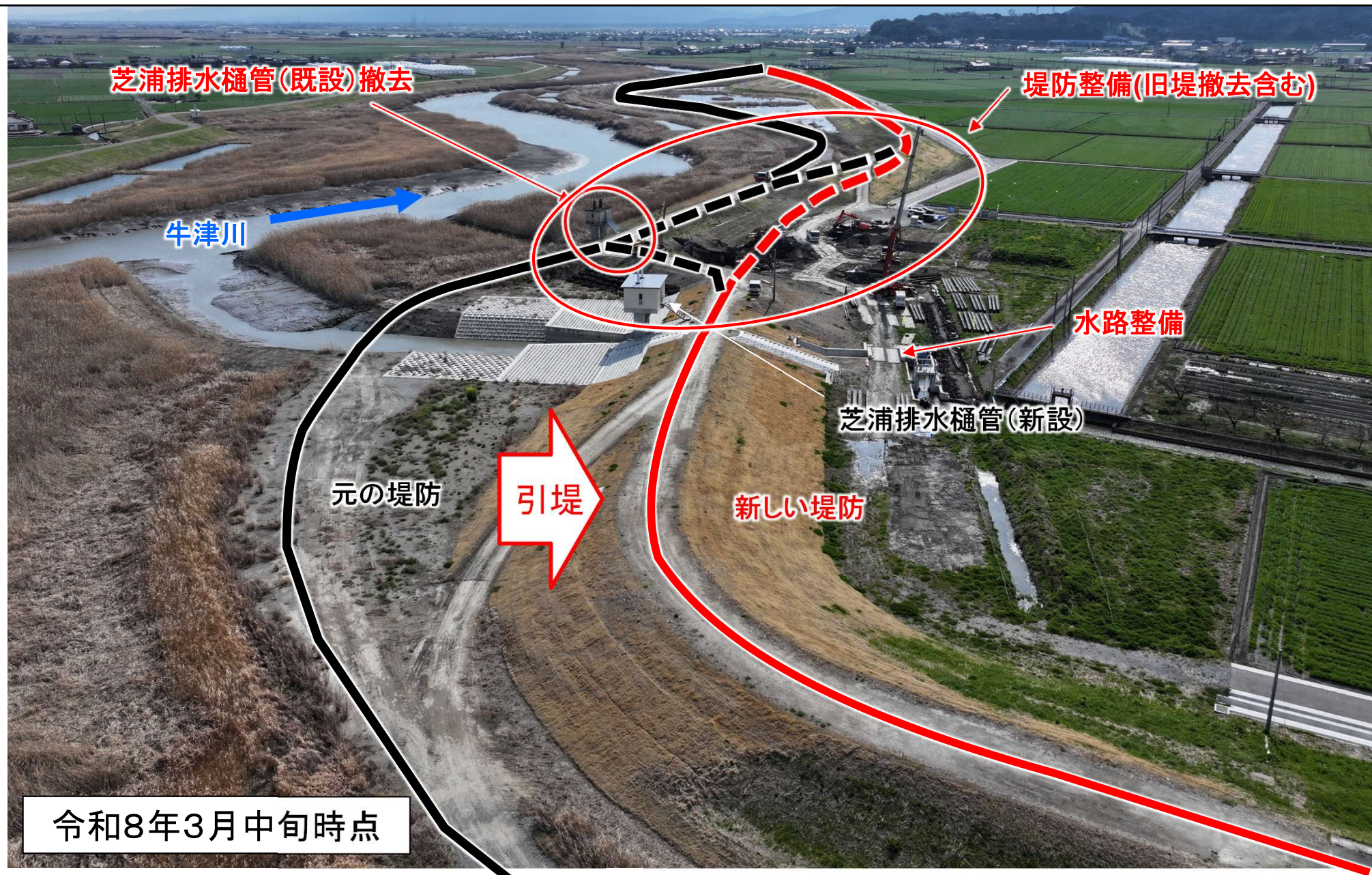
牛津川遊水地の整備状況

- 現在、①水門・吐出樋管前面のコンクリート打設、②排水機場内の盛土・地盤改良工事、③排水機場周辺の水路整備、④山崎川の付替関連工事などを実施している。
- 今後、山崎排水機場、山崎水門の新設工事、周囲堤の地盤改良工事に着手していく予定。



牛津川引堤の状況

○今年度中に、堤防整備(旧堤撤去含む)、芝浦排水樋管(既設)の撤去、水路整備等を行い、一連完成を目指す。



令和8年3月中旬時点

牛津川(多久地区)の河道掘削状況

○牛津川中上流域に位置する多久地区において、引き続き河道掘削を実施し、安全度の向上を図る。

令和7年度の工事実施状況



令和8年度の工事実施予定箇所（辻の平橋～下鶴橋付近）



佐 賀 県

佐賀県の実施

佐賀県内水対策プロジェクト

プロジェクト I F
Inland water Flooding

人命等を

守
る

内水監視カメラ等 活用

避難タイムライン 等

住まい方 の誘導

農業機械避難 等

内水を

貯
める

ダム の貯留機能強化

公共施設 の貯留機能強化

クリーク の事前放流

田んぼダム の推進

ため池 の貯留機能向上

内水を

流
す

排水ポンプ車 の導入

排水機場 の機能向上

河川 整備、浚渫・伐採

① 内水監視カメラ・
センサ等の設置

- ・ 県管理道路への設置
- ・ ため池・クリークへの設置
- ・ 浸水センサ、浸水計の設置
- ・ ケーブルテレビでの設置推進

② 農機具保険への加入推進のための広報活動

R4～

③ 中小河川の洪水浸水想定区域の指定・公表

R7～

④ 田んぼダムの推進

R4～

⑤ クリークの水門操作の省力化・安全化

R5～

⑥ 法面崩壊が進行したクリークの護岸整備

・ 白石

R4～R10

⑦ 焼米ため池の事前放流施設の整備

R4～R6

⑧ ため池・クリークの治水活用検討調査

⑨ ダムの貯留機能強化・活用

・ 県営ダム

R2～

⑩ 河道内の堆積土砂の撤去

⑪ 排水機場の耐水化・遠隔化

・ その他排水機場

R4～

⑫ 排水機場のポンプ増設

・ 下渦排水機場

R4～R6

⑬ 河川整備

・ 山犬原川、武雄川ほか

⑭ 排水機場新設

・ 広田川排水機場

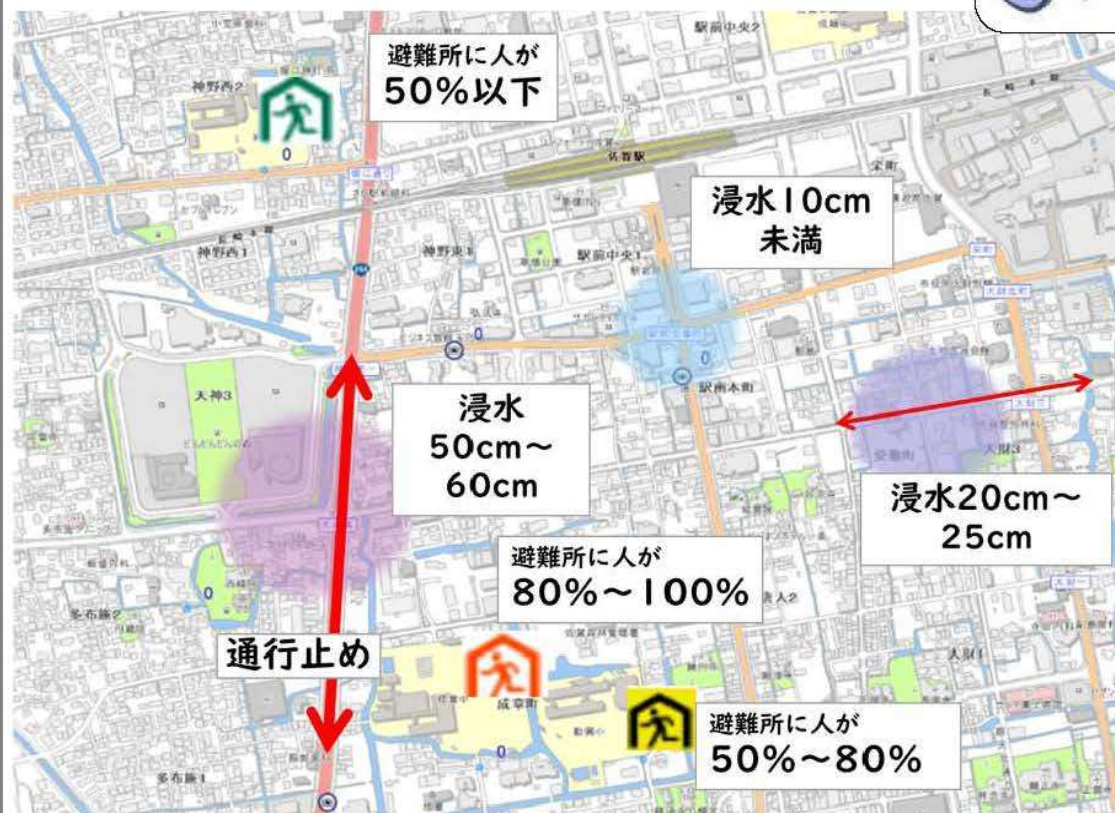
R4～R6

⑮ 排水ポンプ車の整備

対策例Ⅰ

内水監視カメラ・浸水センサー等の設置 (R4～)

防災ネット あんあんアプリ



県内110箇所に設置する道路・河川・クリーク・ため池の監視カメラの映像と

県内301箇所の浸水センサーにより

「佐賀県防災・緊急マップ」で

リアルタイムの県内の浸水状況が確認可能！

～ カメラ映像の一例 ～



令和7年1月から、11言語に対応するようになりました。

対策例2 河川の浚渫を実施！

六角川水系流域

河川の土砂を除去し流すことができる水量を最大限確保！



令和7年度に六角川水系の河川で
約5千 m^3 の堆積土砂を除去

小学校の25mプール(300 m^3)
17杯分に相当



～ 昨年度の実施箇所～

対策例 3

田んぼダムの取組面積を拡大



大雨時に水路への水の流出を抑制し田んぼがダムの役割！



令和4年6月11日
調整板の設置（武雄市東川登町）

六角川水系流域市町

令和6年度：902 ㍔



六角川水系流域市町

令和7年度：1,016 ㍔

に拡大

貯留量に換算すれば約100万 m^3

クリーク事前放流により確保される（R7実績）670万 m^3 を合わせれば

約770万 m^3 の貯留量を確保！！



ほくざん

北山ダム(2,200万 m^3)の約35%に相当！！

令和7年度 田んぼダム取組実績

…主な田んぼダム取組エリア
…主な浸水エリア

R7県全体取組面積
(2,603ha) **2,914ha**

神埼市 : (795ha) **875ha**
吉野ヶ里町 : (162ha) **168ha**
みやき町 : (268ha) **275ha**
上峰町 : (38ha) **33ha**

鳥栖市
(49ha)
55ha

小城市
(630ha)
708ha

佐賀市
(389ha)
492ha

多久市
(17ha)
17ha

神埼市ほか3町
の上流域

下流の筑後川沿川地域の
浸水被害の軽減

武雄市朝日町

六角川への流出抑制により、
武雄市浸水区域の浸水被害の軽減

佐賀江川への流出抑制により、
佐賀市市街地の浸水被害の軽減

武雄市
(166ha)
206ha

武雄市
川登地域

江北町
(11ha)
19ha

嬉野市
(78ha)
66ha

令和5年度分
障害者福祉施設へのせき板発注実績
佐賀西部コロニー 5,000枚
障害者支援センターSAKURA 2,000枚

令和6年度分
障害者福祉施設へのせき板発注実績
佐賀西部コロニー 6,000枚

令和7年度分
障害者福祉施設へのせき板発注実績
佐賀西部コロニー 3,500枚

※ () はR6取組面積



対策例 4

武雄・大町地区の浸水被害軽減

これまでの取組

R7
新規

堰や橋梁の改築、河道の掘削など

甘久川河川改修区間
延長1.9km (R7~R26)



R7
完了

河道の掘削、堤防や護岸の整備など

武雄川河川改修区間 (激特事業)
延長1.0km (R1~R6(R7繰越))



国土地理院地図を加工して作成

対策例5 排水機場の耐水化（浸水対策）を行っています

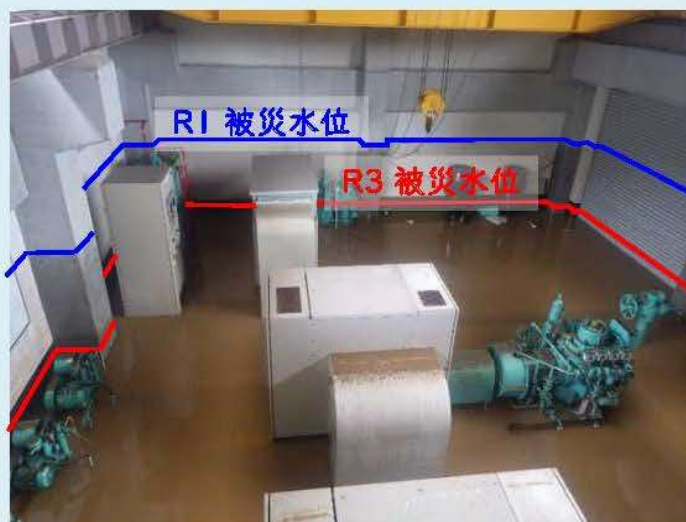
R1年、R3年の出水により一部排水機場が浸水し、機能が停止

➡ 耐水化が必要な排水機場・・・42機場

- ・R7年度までに6機場完了
- ・R8年度は3機場工事実施

浸水状況

納所排水機場（多久市）



クレークゲートの電動化・安全化にも取り組んでいます！

耐水化工事完了

医王寺排水機場（武雄市）



医王寺排水機場（武雄市）



耐水化対策

- ・止水壁設置
- ・防水板設置
- ・機器嵩上げ 等

納所排水機場（多久市）



対策例6 排水ポンプ車「ファイブスターズ」が駆け付けます！

市町からの要請を受けて土木事務所から出動

SAGA 排水ポンプ車
FIVESTARS

内水氾濫による浸水被害の軽減

決壊のおそれがあるため池での緊急排水

などにおいて大きな効果が期待できます



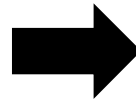
出動実績 ※令和6年度は実績なし

出動日	出動ポンプ車	出動先
R5.7.3	あけぼの[東部] きぼう [杵藤]	[鳥栖市] 轟木排水機場
R5.7.10	ひので [佐賀]	[佐賀市] 朝日町
	はやぶさ[唐津]	[唐津市] 中原
	あけぼの[東部]	[鳥栖市] 轟木排水機場
R7.6.10	きぼう [杵藤]	[武雄市] 橘町

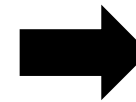
多 久 市

■緊急浚渫推進事業【多久市】

市が管理する河川の緊急浚渫事業を実施（令和3年度～令和8年度（令和7年繰越））
河川氾濫等の大規模な浸水被害が相次ぐなか、河川の浚渫が重要であるため計画的に実施



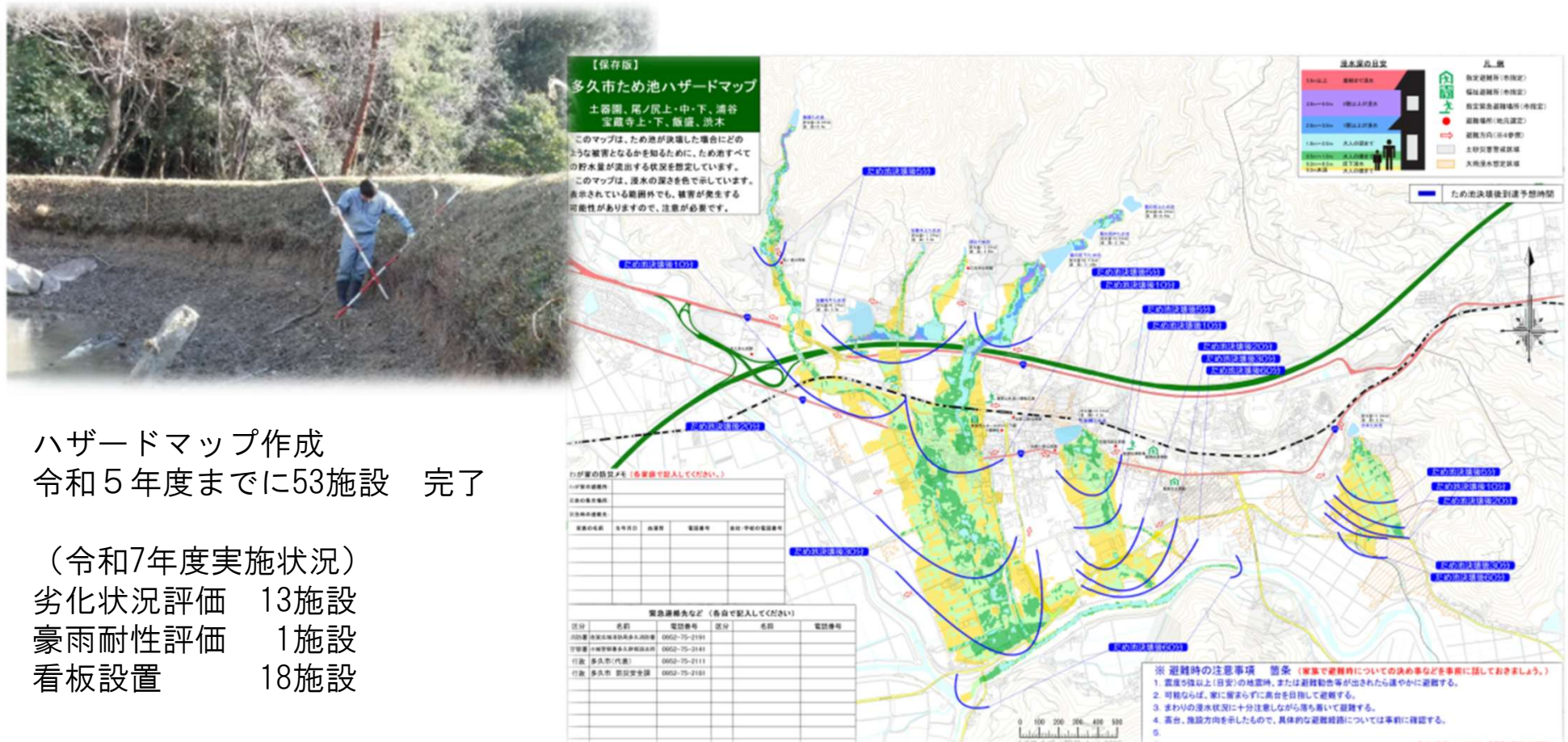
クリークやため池の緊急浚渫事業を実施（令和4年度～令和5年度）
クリークやため池の浚渫により豪雨時の貯水量を確保し、農村地域の浸水被害を低減



■農村地域防災事業【多久市】

近年多発する豪雨災害の対策の一つとして、ため池災害からの被害を軽減し農村地域の防災力を強化

- ・ 既存のため池の劣化状況及び豪雨に対する性能を評価
- ・ ため池が決壊した場合の浸水範囲をシミュレーションし、地域住民の避難に活用
- ・ 作成したハザードマップをお知らせするため、看板を設置



■ 多久市防災ハザードマップ作成事業【多久市】

現行のハザードマップについては全面改訂から5年以上経過

- ・ 令和7年8月に市内の県管理河川の浸水想定区域が新たに指定
- ・ 令和8年5月下旬より新たな気象体系が運用

上記の2点を反映し、よりわかりやすく見やすいハザードマップを作成し全戸配布を行なった。



『自助』，『共助』の防災力を強化し、災害に強いまちづくりを目指す



- ・ 市内の各町ごとに作成
(東・南・多・西・北多久町)
- ・ 各行政区の公民館を表示
- ・ 浸水想定区域内の要配慮者施設を表示
- ・ 防災重点農業用ため池の表示
および「ため池ハザードマップ」を閲覧できる
QRコードを表示

武 雄 市

令和7年度の治水対策の状況 ①計画の策定

武雄市



六角川流域水害対策計画 (令和7年3月)

相互に連携



武雄市気候変動対応モデル都市構想 (令和7年5月)

六角川流域水害対策計画の中で「重点整備地区」に位置付けられた「朝日地区・北方地区・橘地区」それぞれの治水対策と将来のまちの姿を示すもの

武雄市気候変動対応モデル都市構想



武雄市総合治水計画



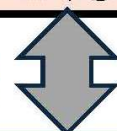
六角川流域水害対策計画
六角川水系・松浦川水系河川整備計画
六角川水系本川圏域河川整備計画
松浦川水系上流圏域河川整備計画
六角川・松浦川水系流域治水プロジェクト
新・六角川水系流域治水プロジェクト
佐賀県内水プロジェクト I F など

整合



武雄市総合治水計画 (令和7年8月)

整合と反映



武雄市公共下水道事業計画
武雄市都市計画マスタープラン
武雄市立地適正化計画
武雄市地域防災計画 など

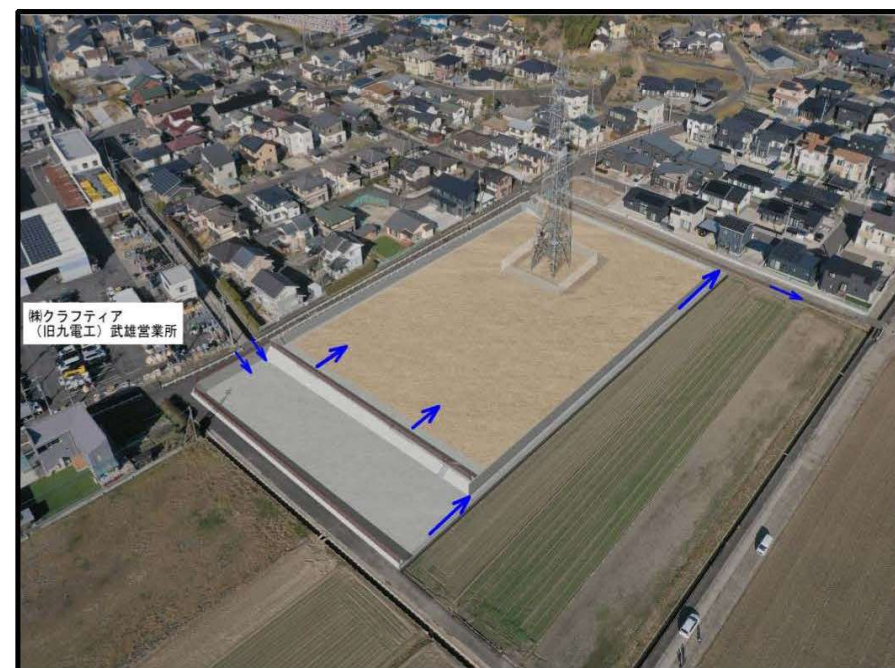


武雄市「ためる」プロジェクト (通称：ためプロ) の取り組み

令和7年度 概要及び実績

- ・武雄町永島地区に遊水公園を整備 (R7～R9 貯水量:5140 m^3)
- ・武雄町一の坪公園貯留施設整備 (R7～R8 貯水量:220 m^3)
- ・ため池の事前放流 (46カ所 放流量:70万7500 m^3)
- ・焼米ため池の事前放流 (放流量:20万 m^3)
- ・田んぼダムの推進 (11組織 206ha 貯水量:約20万 m^3)
- ・雨水貯留タンク購入費補助金 (7件)
- ・雨水貯留浸透施設整備奨励金 (雨水貯留広場 1件)
- ・ため池、クリークの環境整備 (R7～R10 浚渫)
- ・公共施設で「ためる」効果等についての基礎調査

永島地区遊水公園イメージ図



令和8年度の新たな取り組み

武雄市



① 橘町東川流域高頻度洪水対策

※ 高頻度洪水とは 数年に一度発生し、小さな災害を引き起こす、小規模な洪水

◆ 測量調査設計業務（予算額:1800万円）

- ・ 排水施設整備(小規模)
- ・ 排水路改修 ほか

② 中小事業者等浸水被害防止事業費補助金

- ◆ 対象者 武雄市内の中小事業者
- ◆ 概要 止水板の購入費や設置工事費に対する補助
- ◆ 補助額 補助対象経費の1/2 20万円限度額
- ◆ 予算額 100万円



小 城 市

氾濫を出来るだけ防ぐ・減らすための対策

■ 牛津川遊水地の整備

- ・ 遊水地事業に影響する家屋の集団移転先について、令和7年度に**集団移転先の造成工事完成。造成地の販売を開始した。**



■ クリークを活用した雨水貯留容量の確保

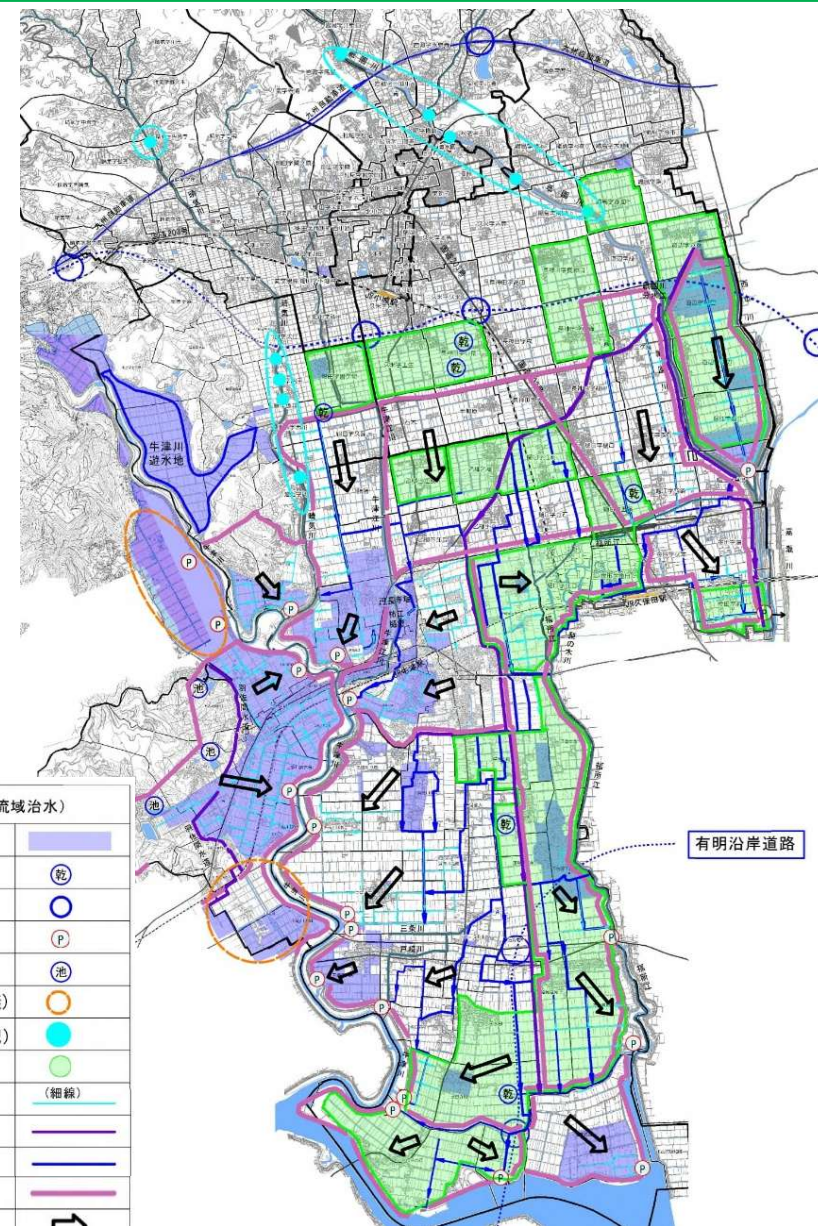
- ・ 防災無線により、各地区の管理者へ事前放流を依頼し、実施するとともに、河川からの取水を抑制することで、事前放流の効果向上を図った。

■ 田んぼダムの拡大

- ・ 農地が持つ多面的機能を活かした有効な手段として「田んぼダム」の取り組みを拡大し、流域治水対策効果の向上を図った。

■ 排水路のライニング

- ・ 強制排水に伴う水位変動による洗堀・崩壊等の洪水被害の軽減のため排水路の「ライニング」を実施した。



凡 例（流域治水）	
湛水エリア（R元年）	
カントリー	乾
インターチェンジ	〇
排水機場	P
ため池（事前放流）	池
水路（事前放流連携協議）	〇
頭首工（取水抑制）（現況）	●
田んぼダム（現況）	●
クリーク事前放流路線	（細線）
幹線用水路	—
幹線用排水路	—
流域（事前放流）	—
排水の流れ	⇒

新・六角川水系流域治水プロジェクト【小城市】 2/2

～水災害に強いまちづくりのために～

氾濫を出来るだけ防ぐ・減らすための対策

■ 排水機場のポンプ更新

- ・ 鉦害復旧事業で建設された排水機場(7施設)は、建設から30年以上経過している。
- ・ 今後は、老朽化により整備・更新が必要となる施設が増加することが予想され、計画的な排水機場のポンプの更新が必要。
- ・ 令和6年度 **満神排水機場3・4号ポンプ更新工事**
前満江排水機場1号ポンプ更新工事
三王崎排水機場1号ポンプ更新工事
- ・ 令和7年度 **上坪排水機場3号ポンプ更新設計委託**
三王崎排水機場2号ポンプ更新設計委託
満神排水機場2号ポンプ更新工事
川越排水機場1号ポンプ更新工事

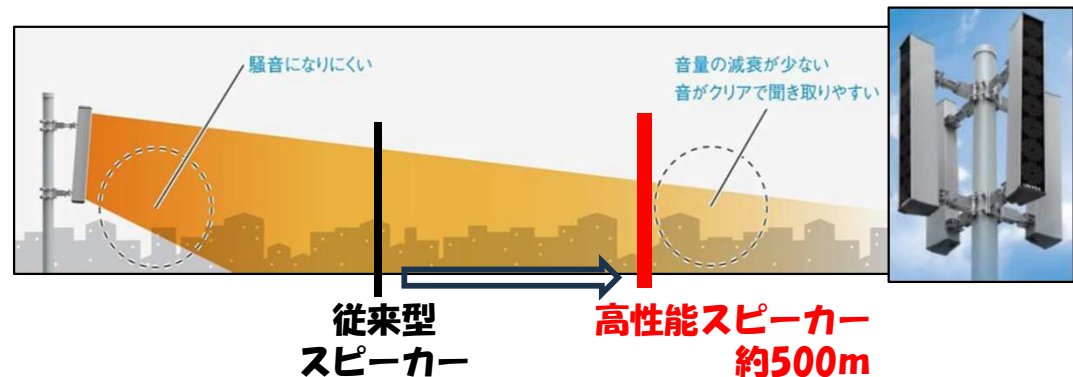


令和3年8月14日 18:00 撮影

被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

■ 防災行政無線の更新及び防災支援システムの整備

- ・ 高性能スピーカーの導入により、音の減衰を抑え遠方まで明瞭な音声を届けることが可能。
- ・ 防災情報を自動で集約し共有することで、発令判断スピードの向上に繋げることができる。
- ・ 複数メディアへ防災情報のワンオペレーション配信を可能とした。



自動的に情報収集・表示・蓄積



大 町 町

0 | 内水を流す・取り組み

大町町においては、農業用幹線水路により六角川への排水を行っています。その内、下大町排水機場へ繋がる水路が、頻発する大雨とポンプによる強制排水の影響で、土砂流失による護岸背面部の空洞化が生じたため、補修工事を行いました。また、上流部ため池の田植え後の低水管理が水利組合により申し合わせがなされ、調整されています。更に、大雨警報の早期予報（高）の発令、または、雨量100mmが想定される場合に、幹線水路の事前落水を要請しています。また、町中央部の境川樋管と町西部の現場樋管にそれぞれ毎秒0.3トンの排水ポンプ新設について、河川協議を終え、現在入札準備を行っており、令和8年度中の運用開始を計画しています

着 工 前

完 成



内水を

流す・溜める

水路の改修

01 水路の補修

下大町排水機場より北に延長406mの水路護岸で背面部の空洞化の解消、コンクリートパネルの布設替え等を行った。

■緊急自然災害防止対策事業債を活用
事業費 23,330千円

ため池の低水管理・水路の事前落水

02 ため池の低水管理

ため池について、田植え後の低水管理が水利組合で申し合わせがされている。概ね1mを目途。

03 水路の事前落水

気象庁の早期注意情報で警報級（高）が発表、または、24時間雨量100mmの予報により、田面下1～1.2mの事前落水を要請。要請前に自主判断で落水されている場合も多い。

排水ポンプの新設

04 境川樋管・現場樋管に排水ポンプ新設

町西部の現場樋管と中央部の境川樋管に排水ポンプを新設、それぞれ0.3トン/秒の排水能力。

■緊急自然災害防止対策事業債活用



02 ため池の洪水調整機能強化事業

【メモ】
農村地域防災減災事業（ため池洪水調節機能強化事業）を活用

内水を
溜める



仏法ため池

【メモ】
取水施設（緊急放流施設）・洪水吐・堤体の改修及び浚渫を計画。
R7～R11の予定



宮浦ため池

【メモ】
・取水施設（事前排水施設）及び堤体の改修を計画
・R8～R12の予定

農業用ため池として灌漑機能を廃止または縮小しているため池について、洪水調整施設として活用するため、堤体改修や低水管理に必要な排水施設の設置、浚渫等必要な整備を行います。

進捗状況

- 01 仏法ため池 R7：測量設計
R8～R11：本工事
- 02 宮浦ため池 令和8年度採択予定
(交付申請中)

参考）ため池基本情報

< 仏法ため池 >

- ・堤高 7.4m
- ・堤頂長 124.0m
- ・総貯水量 22.2千 m^3

< 宮浦ため池 >

- ・堤高 6.8m
- ・堤頂長 250.0m
- ・総貯水量 40.7千 m^3



人命等を
守る

03 地域の防災力向上：大町町災害支援拠点と情報発信ネットワーク

ハード（支援拠点）とソフト（情報伝達）の両輪で、いざという時の安心を支える



	[平常時]	[災害時]
大町町災害支援拠点 「soleil（ソレイユ）」 	SPF（佐賀災害支援プラットフォーム）などが災害時に役立つ研修会や各種イベントを開催。	県内外から集まるNPOなどの活動拠点として機能。
日本レスキュー協会 佐賀県支部 「MORE WAN（モアワン）」 	災害救助犬などの育成拠点、およびドッグランの運営。	ペット同伴避難所の開設、九州一円への災害救助犬などの派遣。



【次なるアップデート】
ソフト面の強化

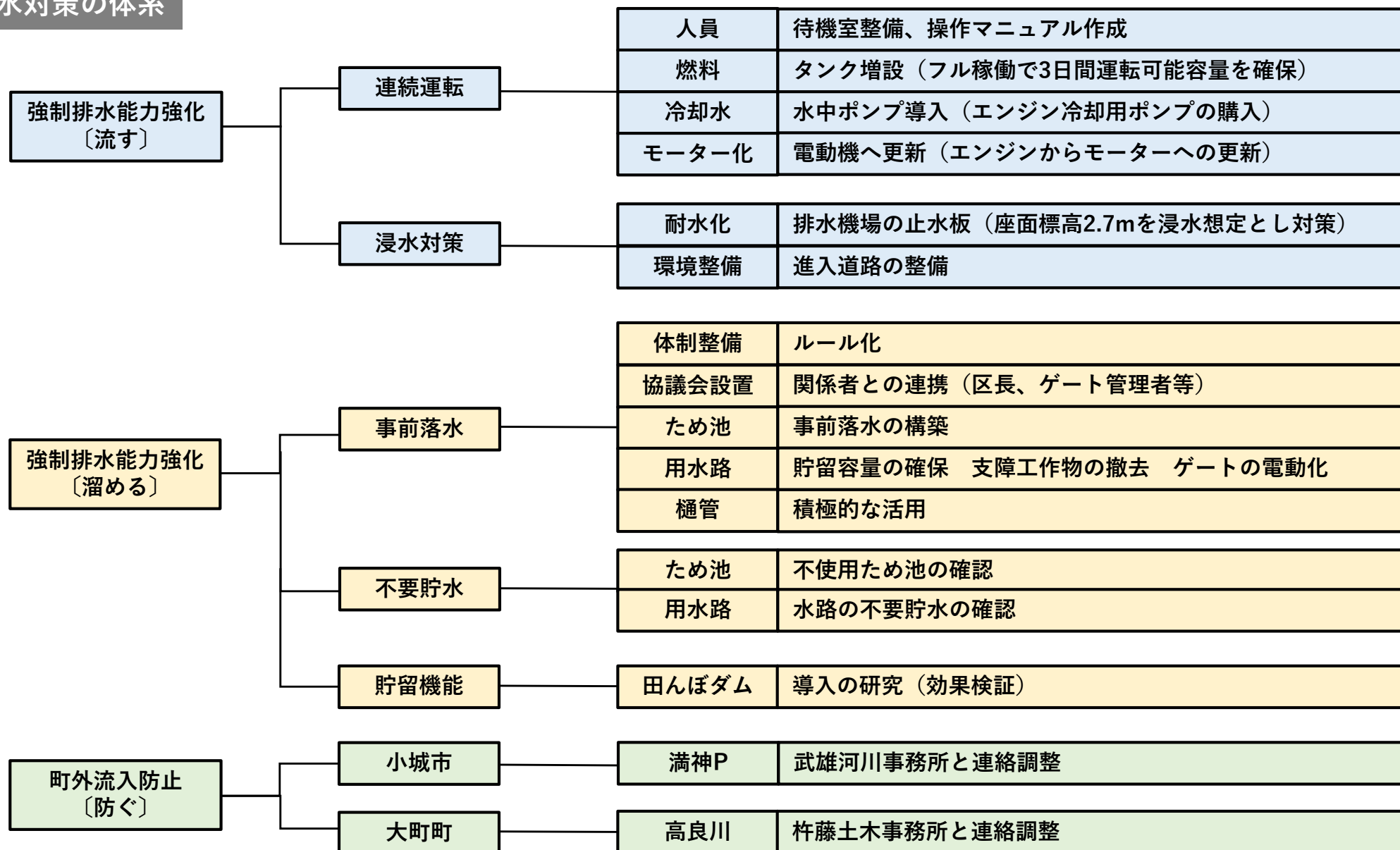


令和8年度（予定）防災行政無線を
防災ネットあんあんと連動させ、
多言語による情報発信にも対応

誰一人取り残さない、迅速で確実な情報伝達
システムを構築します。

江 北 町

排水対策の体系



強制排水能力強化 〔流す〕

排水施設浚渫

東古川排水機場水路内の浚渫
通水障害を解消し、運転時間
短縮



強制排水能力強化 〔溜める〕

排水対策協議会の 開催

ゲート電動化の方針や
事前落水について協議



水系毎の排水対策 連絡会の開催

事前落水時の連絡体制
等を確認



強制排水能力強化 〔溜める〕

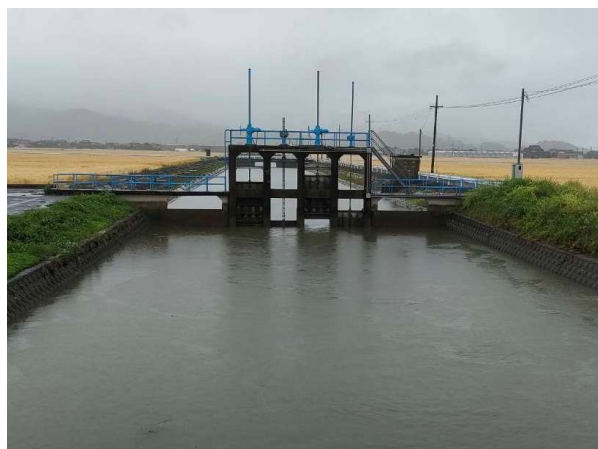
ゲート電動化

事前落水時に操作するゲートの電動化により浸水被害を軽減（町内 4 ヶ所）



幹線水路の 事前落水

水路の貯水位を低下させ、洪水調整ポケットを確保し、浸水被害を軽減



ゲート付近の 法面保護

樋管手前の法面に張りコンクリートを施工し、落水時の通行を確保した



白 石 町

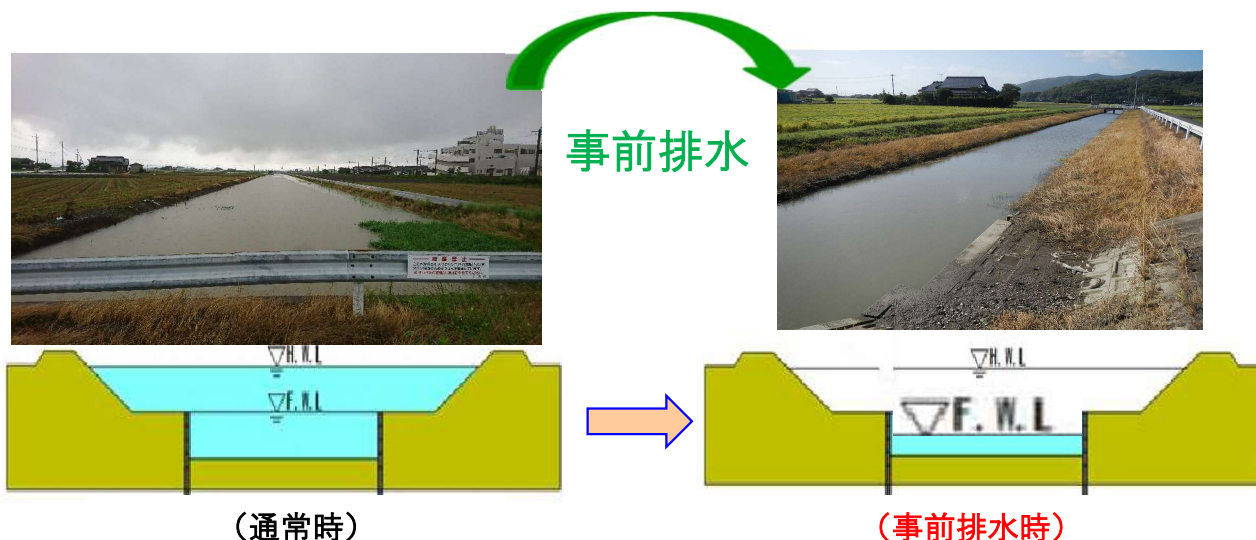
■支川の流出抑制・氾濫抑制の取組

➤ クリークを活用した雨水貯留容量の確保

➤ クリークの水位低下運用

【事前排水の取り組みを継続して実施】

→ 防災行政無線を使用して町内全域に事前排水の呼びかけ、巡回により個別に事前排水を要請



≪用・排水調整協議会の開催≫

- 近年の天候（大雨）の傾向と対策
- 事前排水の重要性の説明
- 調整員、上下流地域間の連携強化など



ゲート操作による排水調整

➤ 制水門の改良

○白石町農業水利施設等整備事業

概要

【事業主体】 区、水利組合、生産組合等

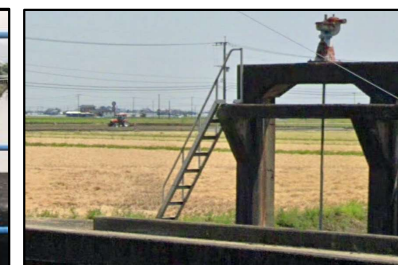
【事業内容】 地元が操作するゲートの省力化対策（電動化）、安全対策（階段、手すり等）

【補助率】 事業に要する経費の75%以内（30万円上限）
※令和8年度より事業に要する経費の75%以内（33万円上限）

【効果】 ゲート操作の省力化（電動化）を実施することにより、操作員の負担軽減や安全確保を実施。



電動化設置例



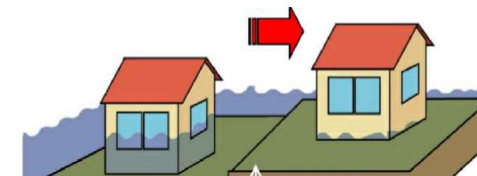
階段設置例

【2】被害対象を減少させるための対策

継続

■住まい方の工夫に関する取組

- 水害に強い住まいづくりの推進
- 住宅地の嵩上げ等の推進



○住宅浸水対策事業

目的：浸水被害を軽減及び浸水被害を未然に防ぐため、住宅嵩上げ等の浸水対策を行った住宅の所有者等に、住宅の浸水対策に要した費用の一部を補助する。

【3】被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

継続

■“逃げ遅れゼロ”へ向けた情報発信システム等の整備

- 水位計、空間監視カメラ等の整備によるリアルタイム情報の発信



【白石町防災カメラシステム】 Minsai (見んさい)

白石町が設置した防災カメラ10箇所と共に、国や県などの協力を得て、カメラ、センサーなどの59か所の画像やデータを使って、「リアルタイムに周辺の道路・河川・水路の状況、気象情報を一目で確認できる。

災害時の初動対応や避難情報の発令、町民の避難行動のタイミング判断に効果を発揮している。



令和6年4月運用を開始

佐 賀 地 方 気 象 台

観測の強化、予測の強化により、線状降水帯に関する情報（文章・図）の段階的な改善を実施

- ・ **令和8年から、2～3時間前**を目標にした予測情報（文章・図）を提供予定
- ・ **令和11年から、半日程度前**に線状降水帯による大雨の可能性が高い**市町村**を把握できる格子形式の分布図を提供予定

情報のリードタイムを伸ばし、対象地域を絞り込むことで、国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく。



※ 従前の計画通り令和11年に提供開始予定。
令和12年度運用開始予定の次期静止気象衛星により更なる予測精度向上を目指す。

令和8年5月29日から開始

(参考) 気象防災速報・気象解説情報

- 警戒レベル相当情報やそれ以外の警報等を補足する情報として、線状降水帯など顕著現象が発生または発生しつつある場合に「気象防災速報」を発表します。
- 現在・今後の気象状況や災害発生の危険度の見通しなどを網羅的に解説する情報として、「気象解説情報」も適宜に発表します。

気象防災速報 … 極端な現象を速報的に伝える情報 (府県単位でのみ発表)

現状

記録的短時間大雨情報

顕著な大雨に関する気象情報

令和8年5月下旬から新たに開始

顕著な大雪に関する気象情報

竜巻注意情報

今後 (令和8年度出水期～)

気象防災速報 (記録的短時間大雨)

気象防災速報 (線状降水帯発生)

気象防災速報 (線状降水帯直前予測)

気象防災速報 (短時間大雪)

気象防災速報 (竜巻注意/竜巻目撃)

気象解説情報 … 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報 (全国・地方・府県単位で発表)

現状

線状降水帯半日前予測を記載した
全般/地方/府県気象情報

全般台風情報(総合情報)

大雨に関する
全般/地方/府県気象情報

今後 (令和8年度出水期～)

気象解説情報 (線状降水帯半日前予測)

気象解説情報 (台風第○号)

気象解説情報 (大雨)